

## 第10回 大阪科学賞 平成4年度(1992年度)

受賞者氏名： 橋本 竹治(はしもと たけじ)

所属(受賞時)： 京都大学 工学部 助教授

業績： **ブロック・コポリマーのミクロ相転移と秩序構造に関する研究**

- 《研究論文数》 原著論文：393 総説・解説：48  
著書(分担執筆を含む)：52
- ・1986-2001年8月9日の原著論文の全被引用件数5,556件 (ISI Web of Scienceによる)。
  - ・1968-1985年の原著論文を含めると全被引用件数は10,000件を超えると推定される。

1992年大阪科学賞受賞後、1993年10月から1998年9月まで科学技術振興事業団、創造科学技術推進事業(ERATO)橋本相分離構造プロジェクト(Hashimoto Polymer Phasing Project)の総括責任者として、延べ26名の研究員、7名の技術員と共に、3名の事務所スタッフの支援のもとに、高分子混合系、高分子ブロック共重合体系、イオン性コロイド分散系、高分ゲル系の相転移並びに分子又は粒子の集合構造の形成過程・機構の解明に関する研究を推進し、ソフトマターの非線形、非平衡現象の科学の発展に寄与した。また同プロジェクトでブロック共重合体のナノ構造のファブリケーションの原理と方法を開拓し、ブロック共重合体を用いたナノサイエンス・ナノテクノロジーを先導した。プロジェクトからは多くの若手研究者を排出した(大学教官・公的研究機関研究員13名)。得られた研究成果により、数多くの基調講演、主招待講演の依頼を受けた。(1999年から2001年の期間に6件)